

さいたまシニアユニバーシティ岩槻校 第9期 会報第5号

会長メッセージ 羽廣 晶子

今年の夏は暑さが続きましたね。近くでは竜巻が発生すると言う事態も起こってしまいましたが、近ごろ朝晩涼しくなって日中もカラッと過ごしやすい日も多くなりましたね。さて、9月に入り9日の午前の授業は「身近な法律」ということで「相続」と言う固いお話でしたが、午後はぐっと変わって「笑いヨガ」の授業でした。いきなりワッハハハ笑い出す先生に私も思わずおかしくてなって隣の人と笑いだしてしまいました。全てを笑いで包みこんでしまうというエネルギーに圧倒されてその場は終始笑いの世界になり、お互いがみんなワッハハハの世界になりました。これぞ幸せの原典ではないかと言うくらいこのエネルギーは凄かったです。昔から「笑う門には福が来る」との言い伝えもありますように、いつも、どんな時も笑顔を忘れないようにしたいものです。夕暮れ時、ふと空を見上げますと低い空に卵色の三日月が澄み切った空に美しく浮かんでいます。お思わず「秋だなあ」と感じたことでした。さて文化祭と言う大きな事業も御蔭さまで大分形が出来てきました。展示品やステージで文化祭を盛り上げましょう。よろしくお祈りします。

相続における公平と不公平

日本法科大学院教授 山川 一陽氏

法律を自らの手で作られたと言う山川先生の講義は、大変重みのある内容であった。太平洋戦争前の日本の相続制度と戦後における相続の基本原則の違いを実例をあげて語って頂いた。戦前は1：男性優位 2：長男優位 3：単独相続 4：生前相続という長男に生まれると親の財産は全部相続する制度であったのが、戦後になり、1：平等 2：複数 3：形式的平等化 4：血族者による相続 5：配偶者相続という新しい制度に変化。欧米では遺言と言うものが大切にされてきたが、わが国では未だ軽視されている。遺言が如何に重要であるかを細かく教えていただいた。文章・日付・公証人など重要なポイントを知ることが出来た。身近な問題を真剣に考える時期に来ていることを再認識した次第である。本来であれば遺言など書く必要がないのがベターではあるが、時代は変わりつつあることを知っておきたい。そこで一句。



「面倒は 私が見たと 譲らない」「ウサギ小屋 分けてしまえば ネズミ小屋」「兄弟で 分数の答え 皆違い」

笑いヨガ

「日本笑いヨガ協会」 会長 高田 佳子先生

もう、笑うしかない！何も考えずにただ笑うしかないという午後のひと時であった。平均年齢60歳代が身振り手振りで教室中を折り重なって右往左往する光景は傍から見ると異様な光景かもしれないが、我々をそうさせる高田先生と助手の成島・中井さんのパワーに圧倒されてしまった。考えてみると、老夫婦が広い家の中でただぼつねんと二人だけでにらめっこしては笑いなど何処へやら。そう考えると今日の授業の意義は大きなものに出会ったはずである。笑うことによる普段使われていない筋肉が再稼働されるそうだが、それよりも家庭内に笑いがあるという効果がどれほど夫婦の絆を高めるかが大切であるかを再考させられたひと時であった。

10月～11月の予定

- 10月21日 1時限「高齢者の健康」 2時限「パドルジャークス体操」
- 10月28日 文化祭（展示品搬入は27日10時にワッツ4Fまで）
- 11月18日 一時限 高齢者の交通安全 二時限 暮らしの税情報

紙面作りにご協力を

この会報は皆様学友の投稿によって出来ております。内容は全く自由で何でも結構ですので、紀行文・俳句・川柳・孫自慢・思いでなど沢山の投稿をお待ちしております。



向島百花園からスカイツリーへ(第4回花散策)

投稿 5班 田中 ヨシ

花散策当日は台風20号で大荒れとなり、急遽9月19日に変更。お陰さまで快晴の秋日和。仲良し9名で浅草行きで電車で向島で下車。駅員に聞いて地図とにらめっこをしながら百花園に到着。園内には大勢の人が散策を楽しんでいた。江戸の街で見慣れた花、草、木を集めた百花園。現在都会では観ることの少なくなった花草がありました。秋の七草、萩、尾花、葛花、撫子、女郎花、桔梗を見つけました。萩の花、小さな紫の花が開いて秋を感じさせます。萩のトンネルをくぐり、藤棚の下で小休止しました。おやつを交換し、話に華が咲きました。Wさん手作りの「ゴーヤかりん糖、甘くほろ苦い大人の味覚」。思い出に残りそうです。日本庭園を歩きながらどうしても見つからなかった秋の七草「われもこう」がススキの横に見事に咲いているのを発見。感激でした。小さな小川の橋の上にカメラを持った人が並んでいました。行ってみると小川の庭園の上にスカイツリーをベストショットで観ることが出来ました。朝の電車の会話の中で、スカイツリー経験者が居なかったので皆で展望台に行きました。一時間も並んで疲れましたが、展望台からの関東平野を十分堪能できました。新都心、海ほたる、皇居等を見ることが出来ました。7千歩いて心と体に心地よい感動をもらった楽しい一日でした。



ハイキングクラブ 奥多摩散策(第2回)

8月27日(火)大宮駅8時30分に男性2名・女性1名集合、同駅8時53分始発の八王子行きに乗る。立川と青梅で乗り換えて奥多摩の3つ手前の「古里(こり)」で降りる。夏休みも終わり近く残暑の続く中、ハイカーは我々だけであった。青梅街道を奥多摩方面に歩きだす。左手の坂道を下り、寸庭橋を渡ると多摩川に下る道がある。狭くしかも前日が雨だったので、滑らないように慎重に歩く。いよいよ本日の最大の登りとなる。40分ほどの登りで尾根道に着き、視界も開けて、涼しい爽やかな風に吹かれホッと、しばし休憩を取る。水不足の無いようにと祈る。鳩ノ巣小橋を渡り、いよいよ溪谷沿いの歩きが始まる。昨日の雨で水量が少々多いように感じられ、また濁ってもいるようであった。昼も回っており、大きな岩の上での水を眺めながらの昼食となる。自然の中でのおにぎりは格別の味である。30分ほど休憩し歩きを再開する。白丸ダムに着く。以前であればこのまま溪谷沿いの遊歩道を歩いたのであるが、2年半前の東日本大震災の影響で歩けなくなっていた。仕方なく堰堤を渡り、日差しの強い中ではあるが車道を歩くこととなった。30分ほどで対岸に渡る数馬峡橋で遊歩道に戻り、今度は多摩川を眼下に見ながらの歩きとなる。最後はまた車道の歩きとなり、奥多摩駅に向かう。今回は幸運というか何回か乗り換えがあったが、すべて直ぐに座ることが出来て良かったと思う。2ヶ月後の次回は10月となるが、文化祭の開催があるので検討しようとなって、散会した。次回大勢の皆様の参加をお待ちしております。 松井 記



文化祭開催迫る！全員参加・絆を深め楽しもう！

レッツ プレイ ! 「グラウンド・ゴルフ」

2班 町田 茂

昨年10月会社を定年退職後、地元の七里地区「風渡野グラウンド・ゴルフ愛好会」に入会しました。会員は約30人、最高年齢88才、最低年齢63才です。毎週2回(火、木の午前)近くの春里広場でプレイを楽しむ他、さいたま市主催の大会等にも参加しています。又、春夏の1泊旅行や新年会などで会員同士の親睦を図っています。個人のゲームなのでゲートボールのように仲間同士で喧嘩になることはありません。スコアは自己申告制なので嘘の申告をしても分かりませんが何時もすると人格を疑われることとなります。私は始めてから約1年になりますが適度の運動量もあり健康保持には最適です。老若男女を問わず楽しめますので皆さん、チャレンジして下さい!!!!